

がくしゅうかだい（1ねんせい）



【こくご】おうちのひととけいかくをたててがくしゅうをしていきましょう。

＜べんきょうすること＞

◆「かきと かぎ」（きょうかしよ 42～43ページ）をがくしゅうします。

- (1) 42 ページのぶんを、ゆっくり、おおきなこえで、よんでみましょう。
- (2) 「かぎ」「どあ」「かいだん」を、42 ページのえのなかからみつけて、ゆびでさしてみましょう。
- (3) 「さる」「ざる」のもじをくらべます。

「ざ」のように音がにごるとき、みぎうえに、ふたつのでんがつきます。

- (4) とりくみシートや、ノートのみす（しかく）から、はみださないようにして、「ざる」「かぎ」「ごま」「ぶた」をれんしゅうしてみましょう。
※43 ページをみて、かきじゅん どれにかいてみましょう。

◆「ぶんを つくろう」（44～45 ページ）をがくしゅうします。

- (1) 44 ページのぶんを、ゆっくり、おおきなこえで、よんでみましょう。
- (2) 44 ページをみながら、「わたしがはなす」「みんながわらう」をノートやとりくみシートにかいてみましょう。
ぶんのおわりには「。」（まる）をつけます。
- (3) 45 ページの えをみて かんがえましょう。

45 ページのえのなかからみつけて、ゆびでさしてみましょう。

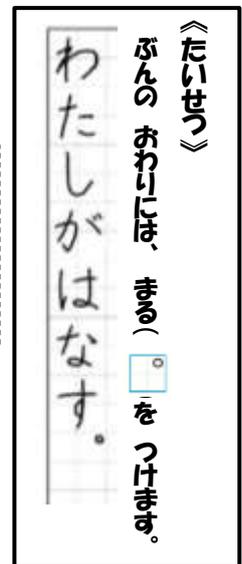
- ・ ねこが ねている。
- ・ おとこのこが おどろく。
- ・ はなが さいている。

- (4) 45 ページの えをみて、「□が □。」というぶんを、じぶんでかんがえてつくりましょう。ノートやとりくみシートに、かきます。

ぶんのおわりには「。」（まる）をつけます。

※ぶんは、いくつ つくってもいいです。

※129～131 ページのひらがなをみて、かいてもいいです。



＜保護者による関わり方のポイント＞※可能な範囲でお願いします。

◆「ぶんをつくろう」では、何が（主語） どうする。（述語） という文型についての学習をします。

- ・ (4) で、一人で考えることが難しい場合には、挿絵のある部分を取り上げ、おとこのこがやおんなのこがなどの主語に続く部分を考えさせてください。
- ・ お子さんが書いた文のおわりには、句点（「。」）が付いているか確かめてあげてください。